2008年7月15日(新様式第１版)

製造販売届出番号　20B2X00014000023

器１７　血液検査用器具
一般医療機器 検体前処理装置 JMDNｺｰﾄﾞ38757000

特定保守管理医療機器

ティシュー・テック グラス　ジー２

EMC適合

【警告】

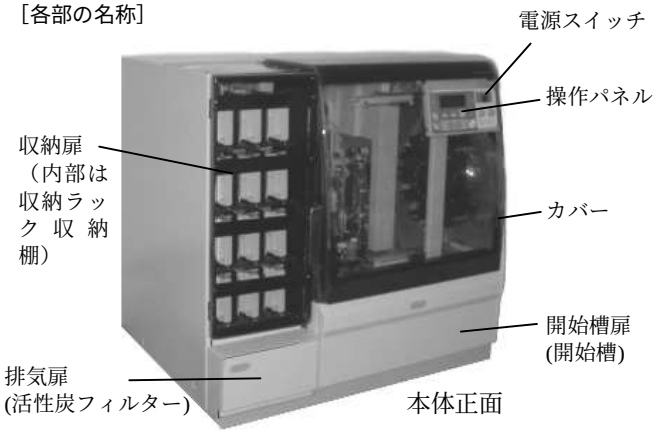
・装置の周囲に火気を近づけない
・装置を分解・改造しない
・収納扉を開いて手を入れるときは、RACKランプが点灯していて安全である事を確認する
・開始槽扉を開けてバスケットをセットするときは、LOADランプが点灯していて安全である事を確認する
・装置を濡らさない
・スイッチ類をぬれた手で操作しない
・電源プラグはぬれた手で抜き差ししない
・電源プラグの抜き差しはプラグの部分を持って行なう
・電源コードを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしない

【禁忌・禁止】

・トルエンは使用しない
・劣化・破損したバスケットおよび収納ラックは使用しない
・厚い検体(0.4㎜以上)を封入すると、収納ラックへの収納時に障害となる可能性があるため本装置で封入しない
・装置の周囲で紫外線殺菌灯を使用しない
・警告・注意ラベルをはがさない

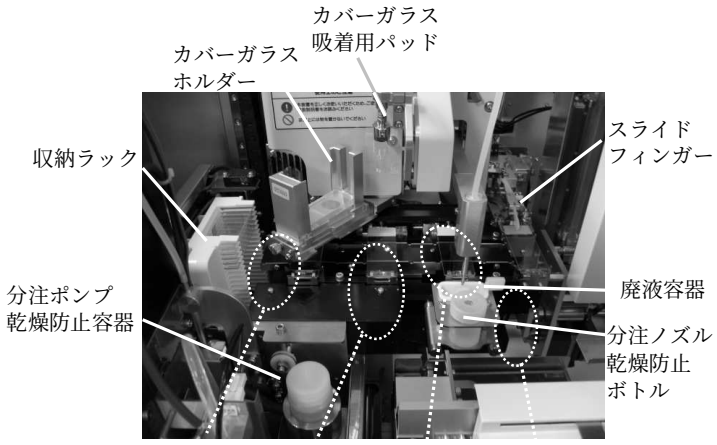
【形状・構造及び原理等】

［各部の名称］



本体正面

本体背面



カバー内各部名称

［作動・動作原理］

開始槽にセットされたスライドガラス入りバスケットを、バスケット取得機構が取得し、搬送部に未封入のスライドガラスを送り出す。スライドガラス上に封入剤を指定量滴下し、内部にセットされたカバーガラスを用いて封入する。封入済みスライドガラスは収納ラックに収納される。これらの動作を連続して行い、収納ラックは、収納棚に収められる。　収納棚が収納ラックで満杯になると、画面表示とブザーにより使用者に報知する。

【使用目的、効能又は効果】

検体前処理装置（封入装置）

【品目仕様等】

型式：Glas g2-J0
本体寸法：750(W)×620(D)×750 (H) ㎜
本体質量：約 110 Kg
処理能力：ｽﾗｲﾄﾞｶﾞﾗｽ封入枚数1時間当り最大420枚（計算値）
使用可能ｽﾗｲﾄﾞｶﾞﾗｽ：
25～26(幅),75～76(長さ),0.9～1.2(厚さ) ㎜

※本装置はティシュー・テック プリズマとの連結使用が可能です。

【操作方法又は使用方法等】

［必要とする設備］

電源設備

電圧	：ＡＣ100Ｖ±10%
周波数	：50/60 Ｈｚ
容量	：2.5Ａ以上
接地端子	：Ｄ種以上
消費電力	：250ＶＡ

［操作方法］

以下の手順の詳細は取扱操作説明書をご参照ください。

① 廃液容器、分注ノズル乾燥防止ボトル、収納ラック、カバーガラスホルダーなどの、必要な付属品が、所定の位

取扱操作説明書を必ずご参照ください。

Glas-g2-01

置にセットされている事を確認する。
② 封入剤と、開始槽の透徹剤、分注ノズル乾燥防止ボトルおよび分注ポンプ乾燥防止容器のキシレン量を確認する。
③ 電源を入れる。
④ カバーガラスをセットする。
⑤ 初めて封入剤をセットする場合は、初期導入を行う。
⑥ 初めて封入を行う場合は取扱説明書を確認しながら、各パラメーターの設定を行う。
⑦ 操作パネルのLOADランプが点灯している事を確認し、開始槽扉を開けて開始槽を引き出し、スライドガラスを入れたバスケットを「UP SIDE」を右側に向けて開始槽にセットする。
⑧ 開始槽を戻して開始槽扉を閉め、STARTキーを押し封入を開始する。
⑨ 封入が終了したら、操作パネルのRACKランプが点灯している事を確認し、収納扉を開ける。
⑩ 収納ラック収納棚より収納ラックを取り出す。
⑪ カバーを開け、空バスケットを取り出し、収納扉とカバーを閉めて電源を切る。

【使用上の注意】

詳細は取扱操作説明書の「使用上の注意」をご参照ください。

・装置の設置・設置場所の変更作業は販売店に依頼する
・装置の定期点検を６ヶ月ごとに行なう
・電源プラグは接地端子付コンセントに接続する
・お手入れの際は電源を切る
・異常動作時は電源を切った後、電源プラグをコンセントから抜く
・排気口をふさがない
・装置周辺は通風・換気を良くする
・検体が乾燥しないように、開始槽には十分な透徹剤（主にキシレン）を入れる
・薬液（有機溶剤等）は注意して取り扱う
・装置に有機溶剤をこぼさない
・装置上には物を置かない
・可動部に障害物を置かない
・運転中不要なカバー・扉の開閉は行わない
・カバー・扉の開閉動作はゆっくり行う
・カバー・扉開閉の際、隙間に手を挟まないよう注意する
・封入テストを行い運転条件を決定する
・検体はスライドガラスの中央に貼り付ける

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

［設置環境］

・温度　10～40℃
・湿度　30～85%RH（結露なきこと）

［耐用期間］

耐用期間：製造出荷後 ８年

条　　件：取扱操作説明書及び添付文書に記載された取扱注意事項あるいは保守・点検に係る事項を順守し、定期的に日常点検・保守点検を実施すること。
点検結果により、下記に示す主要な構成部品や保守点検事項に記載された交換部品を必要に応じ交換すること。
保守部品として供給される主要な構成部品は下表の通り。

主要な構成部品名	使用耐用年数
駆動部	８年 (ｽﾗｲﾄﾞﾌｨﾝｶﾞｰは消耗品)
制御基板	５年
スイッチング電源	５年
カバーガラス吸着用ポンプ	８年 (ﾀﾞｲﾔﾌﾗﾑ、ﾘｰﾄﾞﾊﾞﾙﾌﾞは消耗品)
カバーガラス吸着用電磁弁	８年
分注ポンプ	８年
検出センサ	５年
蛍光表示管	８年

※ ここに記載した装置の耐用期間及び主要な構成部品の使用耐用年数は保証期間ではなく、上記の条件を満たした場合での平均的な年数となるため、使用環境、使用方法などにより異なります。

【保守・点検に係る事項】

［使用者による保守点検事項］

詳細は取扱操作説明書をご参照ください。

・活性炭フィルター：定期的に新品と交換する。
・開始槽　：検体のクズなどがたまったとき、開始槽を清掃する。
・ステーションと廃液容器　：その日の作業が終了したら、各ステーションとその周辺を清掃し、廃液容器を洗浄する。
・分注ノズル乾燥防止ボトル　：１週間に１回または中の溶剤が混濁したら、溶剤を交換する。
・収納ラック　：１週間に１回以上または封入剤が付着した場合、収納ラックを洗浄する。そのときに破損している箇所がないかを確認する。
・バスケット　：１週間に１回以上バスケットを洗浄する。そのときに破損している箇所がないかを確認する。
・分注ポンプ乾燥防止容器　：溶剤の量が減ったときは補充する。２ヶ月に１回以上、中の溶剤を交換する。
・カバーガラス吸着用パッド　:封入剤が付着したときは、パッド面を清掃する。

［業者による保守点検事項］

・スライドフィンガー　：傷ついたとき、または２年を目安に新品と交換する。
・カバーガラス吸着用パッド　：傷ついたとき、または１年を目安に新品と交換する。
・カバーガラス吸着用ポンプダイヤフラム　：１年を目安に新品と交換する。
・カバーガラス吸着用ポンプリードバルブ　：１年を目安に新品と交換する。
・各種シール部品　：３年を目安に新品と交換する。
・バッテリーユニット　：寿命がきたら新品と交換する。

【包装】　１台

【製造販売業者及び製造業者等の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者
名　　称：サクラ精機株式会社
住　　所：長野県千曲市大字八幡1122-8
電話番号：026-272-8381

製造業者
名　　称：サクラ精機株式会社 長野本社工場
住　　所：長野県千曲市大字鋳物師屋75-5
電話番号：026-272-2381

販売業者
名　　称：サクラファインテックジャパン株式会社
住　　所：東京都中央区日本橋本町3-1-9
電話番号：03-5638-1335 （営業窓口）
機器の故障に関するお問合せ先：０１２０-３９２-８７４
（フリーダイヤル）